

# SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme

# EXPRESS--

2012 MFJ SUPERBIKE EXPRESS  
Final Round MFJ Grand Prix in SUZUKA



ようやくマシンのよさが発揮できた、と秋吉耕佑

**JSB 1000** QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

## 秋吉耕佑が韋駄天ぶりを発揮しダブルポールを獲得！ 中須賀克行は3年振り3度目のタイトルに向けて カウントダウンに入る

4月にツインリンクもてぎで開催した全日本ロードレース選手権も、鈴鹿サーキットで最終戦を迎えた。今年も全クラスのタイトル決定が、最終戦に持ち込まれ、本日、4人のライダーが歴史に名を刻む。今回の鈴鹿ラウンドは、第44回MFJグランプリとしての開催となり、ボーナスポイントがプラス3ポイント付く。2レース制で行われるJSB1000クラスは、両レースを制すれば56ポイントを獲得できる。

事前テストがなかったこともあり、木曜日からは始まったレースウィーク。初日から速さを見せつけたのがゼッケン1をつける秋吉耕佑だった。秋吉は、開幕戦ツインリンクもてぎで転倒、負傷しシーズン前半戦の欠場を余儀なくされた。第6戦SUGOから復帰するが、今ひとつ実力を出し切れないレースが続いていたが、今回は、初日から韋駄天ぶりを発揮。何と全セッションでトップタイムをマーク。レース1もレース2もポールポジションからスタートする。Q3では、自身の持つコースレコードを3年振りに更新した。

「本当は2分5秒台を狙っていましたが、いろいろチャレンジしたのですが攻めきれないところがあって届きませんでしたね。最近のレースは、決勝日になって調子を崩していたので、同じ轍を踏まないようにしたいですね。レースは、スタートを決めておもしろいレースができればいいと思っています。雨になったらゆっくり走るだけです」と余裕のコメント。公式予選までは、完

全に秋吉が支配したと言っても過言ではない。

一方、3年振りのタイトル獲得に王手をかけて臨む中須賀克行は、やや苦戦している。岡山ラウンドの後、ワイルドカードでMotoGP日本グランプリに参戦。レースをこなしたことで、JSB1000マシンへの乗り換えに苦労したという。木曜日から金曜日へとマシンのセットも悪い方向に行ってしまう、土曜日のQ1では最初の状態にマシンをリセット。JSB1000でのライディングも見直し、徐々にペースを上げていき、Q3では2分6秒台に入れ意地を見せた。「YZR-M1とYZF-R1の違いを頭では理解しているつもりでも、実際にスピードを乗せて走れていなかった部分があったので、セッティングを元に戻してライダーもアジャストして予選を戦いました。3年前は勝つことにこだわりすぎて転倒し、V3を逃し悔しい思いをしました。今回は確実にタイトルを獲得したいと思っています」と3年振りの王者に向けて着実にコマを進めたい中須賀。

秋吉と中須賀に割って入ったのが、高橋巧だ。第7戦オートポリスで右肩を負傷し、2戦を欠場。今回が復帰戦だったが、セッション毎に調子を上げてきた。金曜日に秋吉につぐ2番手につけると、公式予選でも全セッションで2分6秒台に突入。最終セッションで自己ベストをマークしている。「金曜日の時点で2分6秒台が見えていなかったのですが、マシンのフィーリングもよくなってきていますし、肩の状態も問題ないので、

いいレースをしたいですね。しばらくJSB1000マシンに乗っていませんでしたので体力的な不安はありますが、最終戦ですし、気合いで頑張ります。できればレース1だけでもドライでやりたいですね」と高橋。

予選4番手には、市販キット車のCBR1000RRを駆る山口辰也が続く。「問題を抱えていたのですがチームが頑張ってくれたおかげでよくなってきています。市販キットでは最速タイムをマークできたので満足していますが、雨になるとセットをやりなおさないといけないので、できればドライでやりたいですね」と2分7秒台をマークした山口。4番手以降は、山口を中心に徳留和樹、安田毅史、そして柳川がポジションを争うことになるだろう。出口修と芹沢太麻樹のエヴァRT、満身創痍ながら復帰した加賀山就臣と武田雄一のTeam KAGAYAMAにも注目したいところだ。

気になるのが天気だ。土曜日の時点での予報は雨になる可能性が高くなっている。レインコンディションになっても、秋吉の速さは変わらないだろう。高橋、中須賀が秋吉のペースにどこまでついていけるかがカギとなりそうだ。暫定ランキング2番手の柳川明が苦戦しているだけに、レース1で中須賀がタイトルを決める可能性が高いと言える。3年振り3度目のタイトル獲得の瞬間に向けてカウントダウンに入っている。

(佐藤寿宏)

**ポールポジション[Race 1]: 2'06.485 [Race 2]: 2'06.401**

**#1 秋吉耕佑 / F.C.C. TSR Honda**



『これまで(ケガの影響で)調子が合わせづらくて、レースを走行するのが精一杯という状況でした。鈴鹿は得意ですし、タイヤも8耐のベースがあるので、マシンも速いので性能は発揮できたと思いつつも、3年前に出した自分のレコードタイムをなかなか超えられずにいました。ハードタイヤを履いていましたが、気温が下がると、セクター1、2をどうしても攻めきれず遅くなってしまうので、セクター3、4で詰めていく方向に変えて、ほんの少しですがコースレコードを更新できました。スピードが出れば出るほど難しくなってきますが、8耐のベースがあったことを感謝しています。今回は、きちんとレースができそうです。雨は気を使って走らなければいけないので、あまり好きではないのですが、なるべくトップをキープして優勝したいですね』



決勝レース1、2ともにフロントロウはポールポジションの秋吉耕佑と高橋 巧、中須賀克行の3人。レースはこの3人がリードするだろう

**ノックアウト公式予選Q1 正式結果**

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走31台  
●[Race1]決勝スタート/11:15(15周)

Pos	No	Rider	Team	Time
1	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	2'06.485
2	634	高橋 巧	MuSASHi RT /ハルク・プロ	2'06.989
3	21	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	2'07.358
4	104	山口 辰也	TOHO Racing with MORIWAKI	2'07.860
5	57	安田 毅史	Honda鈴鹿レーシングチーム	2'08.291
6	87	柳川 明	TEAM GREEN	2'08.608
7	9	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	2'09.118
8	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	2'09.342
9	53	武田 雄一	Team KAGAYAMA	2'09.442
10	6	出口 修	エヴァRT式号機トリックスター-FRTR	2'09.464
11	01	芹沢 太麻樹	エヴァRT初号機トリックスター-FRTR	2'09.745
12	11	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎 B'WISE RT	2'09.856
13	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	2'10.353
14	7	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	2'10.699
15	19	片平 亮輔	8810RwithMCR	2'10.966
16	71	加賀山 就田	Team KAGAYAMA	2'11.063
17	13	戸田 隆	ファーストスター&GTRIBE	2'11.160
18	8	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	2'11.211
19	17	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	2'11.624
20	55	須磨 真仁	CONFIA H.M.F	2'11.865
21	36	西中 綱	Honda DREAM RT和歌山	2'12.035
22	35	原田 洋孝	RSガレージハラダ姫路	2'12.170
23	15	久保山 正明	Honda浜友会浜松エスカルゴ	2'12.763
24	39	田村 武士	テイクアップ OIRF	2'13.030
25	16	高田 達人	TEAM Tras&8810R	2'13.116
26	66	大内田 実	DOG FISHオーテックススカ	2'13.451
27	18	中村 知雅	チームトモマサ	2'14.037
28	27	村上 雅彦	チームムラカミ&ウッドストック	2'14.138
29	22	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	2'15.405
30	72	大貫 貴彦	ロケットケロンタン&ネオラゲーナ	2'16.885
31	29	井上 健志	炎R	2'17.862

以上予選通過車両:  
予選通過基準タイム(110%) 2'19.638

★JSB1000[Race1]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q1(第1セッション)にて記録されたタイム順となります。

**大崎誠之がコースレコードでポールポジション!**  
**「レースを引っ張る自信はある!」**



ST600クラスでは、大崎誠之がコースレコードを大幅に更新する2分12秒515をマークし、ポールポジションを獲得した。「鈴鹿はチームの地元ですし、いいレースにしたいですね。ただ、僅差のポールポジションなので、決勝は、そう簡単にはいかないですが、勝てるように頑張ります」と大崎。

2番手に井筒仁康が2分12秒574、3番手の岩崎哲朗が2分12秒616、デチャ・クライサーが2分12秒684、津田拓也が2分12秒881、チャランボン・ボラマイが2分12秒900と、ここまでが12秒台に突入。チャンピオンの可能性を残している中富伸一は2分13秒146で7番手。小林龍太が2分13秒290で8番手で続いた。

**ポールポジション: 2'12.515**  
**#75 大崎 誠之 / 伊藤レーシングGMDスズカ**



『12秒台は狙っていたけれど、このタイムは自分でも出来過ぎだと思っています。金曜日までは決勝に向けてのセットアップをしていました。予選で一発タイムを出すセットも詰められたので、あとはアタックに出て行く位置取りと、絶対後ろに付かせないこと、自分の前に目標物があることを考えました。それがうまくいけば12秒台は出ると思っていましたが本当にすべてがうまくいって、タイムを出すことができました。決勝は、できれば2、3台で逃げたいですね。アベレージは悪くないので自分で引っ張る自信もあるし、他がきたら様子を見ますが、多くても5.6台で、ふくれ上がることはまずないと思います。すぐに自分のペースつかめれば少ない人数で逃げられると思うので、うまく駆け引きして最後に前に出たいですね』


**J-GP2**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
**QUALIFYING PRACTICE**  
 REPORT & INTERVIEW

## レコード更新で渡辺一樹がポール獲得！ 「周りのことより自分のベストを尽くすだけ」



J-GP2クラスでは、練習走行から2分11秒549でレコードを更新していた渡辺一樹が、予選セッションの開始早々にそのタイムを上回る2分11秒487をマークしてトップに立つ。渡辺はセッション後半にも激しくアタック、すべての区間タイムで自己ベストを記録、2分11秒191とさらにタイムを更新してポールポジションを獲得した。

各ライダーも見応えあるアタックを繰り広げ、2番手には2分12秒164で生形、続いて野田が2分12秒194で3番手、4番手は序盤にマークした2分12秒478で野左根、2分12秒677の浦本修充が5番手、高橋英倫が2分12秒941で続いた。



**ポールポジション：2'11.191**  
**#26 渡辺一樹／RS-ITOH&ASIA**

『だいぶ前にテストしたときに12秒台が出ていましたし、岡山のレースでもセッティングが詰まってきたのでレコードは更新できるだろうと思っていました。金曜日の走行で、すでに11秒5が出ていたので10秒台中盤が狙える車体だったのですが、自分のミスで1周をうまくまとめられませんでした。でも、レコードを更新できたことはよかったです。自分のベストを出すことだけに集中していたので、周りは気にしていませんでした。決勝はドライなら勝てる自信がありますが、多分雨になると思うので、朝のウォームアップでコンディションを確かめてみないと、どうなるかわからないですね』


**J-GP3**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
**QUALIFYING PRACTICE**  
 REPORT & INTERVIEW

## 山田誓己、逆転で今季3度目のポール！ 「今度こそ“初”を卒業したい」



セッションの序盤は長島哲太が2分17秒053をマークしてモニターのトップに。2番手の山田誓己も17秒台で、この二人が早くも火花を散らす展開となった。

セッション終盤に哲太がS字コーナーで転倒。自力でピットに戻るが再スタートはせず。その間に誓己が2分16秒858とそれまでのレコードタイムを2秒以上上回る驚異的なタイムを記録して、逆転でポールポジションを獲得した。哲太は2番手。3番手に仲城英幸で2分18秒060、4番手には山本剛大で2分18秒168、5番手は菊池寛幸で2分18秒344、タイトルを狙う徳留真紀は2分18秒408で6番手で、ここまでがレコードタイムを更新した。



**ポールポジション：2'16.858**  
**#5 山田誓己／TEAM PLUSONE&ENDURANCE**

『レコードタイムを更新しようとは思っていたけれど、16秒台が見えてきたのは金曜日の2本目の走行が終わってからですね。(タイムを出した周は)理想的な感じで走れたと思います。あらゆるところでスリップストリームを使うことができ、コーナーでも引っかからずに、うまく1周をまとめることができました。タイム的には3番手以下との差があるけれど、ここは高速サーキットなので、スリップを使われると大きい集団になると思う。自分には余裕があるので、しっかり周りを見てレースを進めていきたいと思っています』

MFJ Superbike Final Round **MFJ Grand Prix in SUZUKA** 27-28 OCTOBER, 2012 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走31台  
●決勝[Race2]スタート/15:20(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	R 2'06.401
2	634	高橋 巧	MUSASHI RT ハルクプロ	CBR1000RR	2'06.709
3	21	中須賀 克行	ヤマハVSPレーシングチーム	YZF-R1	2'06.820
4	104	山口 辰也	TOHO Racing with MORIWAKI	CBR1000RR	2'07.921
5	9	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	2'08.005
6	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	2'08.344
7	6	出口 修	エヴァRT式号機トリックスターFRTR	ZX-10R	2'09.024
8	57	安田 毅史	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	2'09.079
9	53	武田 雄一	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'09.190
10	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000 L2	2'09.298
11	01	芹沢 太麻樹	エヴァRT初号機トリックスターFRTR	ZX-10R	2'10.315
12	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R1	2'11.629
以上 Q3にて決定:					
13	11	清水 郁巴	ホンダドリームRT高崎 B'WISE RT	CBR1000RR	2'10.205
14	7	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	2'10.427
15	19	片平 亮輔	8810RwithMCR	CBR1000RR	2'10.580
16	8	須貝 義行	チームスガイレージングジャパン	DUCATI 1098R	2'10.905
17	13	戸田 隆	ファーストスター&GTRIBE	BMW S1000RR	2'11.105
18	55	須磨 貞仁	CONFIA H.M.F	GSX-R1000 L2	2'11.364
19	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'11.989
20	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	2'12.339
21	36	西中 綱	Honda DREAM RT和歌山	CBR1000RR	2'12.493
22	35	原田 洋孝	RSカレージハラダ姫路	ZX-10R	2'13.929
23	39	田村 武士	テイクアップ OIRF	GSX-R1000	2'14.880
24	17	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	出走せず
以上 Q2にて決定:					
以下 Q1にて決定:					
25	16	高田 速人	TEAM Tras&8810R	BMW S1000RR	2'13.116
26	66	大内田 実	DOGFISHオーテックスズカ	CBR1000RR	2'13.451
以上予選通過車両:					
*Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'06.488					

★JSB1000[Race2]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q3(第3セッション)まで終了したタイム順となります。



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走32台  
●決勝スタート/10:15(12周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	75	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDズカ	YZF-R6	R 2'12.515
2	77	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'12.574
3	9	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'12.616
4	30	DECHA KRAISART	Thailand Racing Team	YZF-R6	2'12.684
5	15	津田 拓也	WestPower	GSX-R600	2'12.881
6	65	CHALERMPOLOPOLAMAI	Thailand Racing Team	YZF-R6	2'12.900
7	43	中富 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	2'13.146
8	634	小林 龍太	MUSASHI RT ハルクプロ	CBR600RR	2'13.290
9	17	稲垣 誠	アケノスピードMIC	YZF-R6	2'13.319
10	73	Azulán Shah Kamaruzaman	Boon Siew HONDA RACING MALAYSIA	CBR600RR	2'13.477
11	3	渡辺 一馬	KoharaRacing	CBR600RR	2'13.665
12	16	國川 浩造	HiRaNo・HouYou	CBR600RR	2'13.869
13	33	西嶋 修	SPA直入インストwithフィービー	ZX-6R	2'13.934
14	19	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	2'14.292
15	62	横江 竜司	森のくまさん.MIZTEC山台	YZF-R6	2'14.333
16	23	手島 雄介	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	2'14.386
17	50	小島 一浩	TSRレーシングスクール	CBR600RR	2'14.426
18	12	岡村 光樹	RSGLレーシング&ドリーム北九州	CBR600RR	2'14.512
19	72	日浦 大治朗	HD team 12	CBR600RR	2'14.881
20	25	清水 直樹	Express Houyou	YZF-R6	2'15.263
21	28	藤島 翔太	4Sure ホンダドリーム名古屋西	CBR600RR	2'15.467
22	26	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	2'15.633
23	32	深津 拓真	チームスガイレージングジャパン	CBR600RR	2'15.953
24	37	近藤 湧也	GBSレーシング	YZF-R6	2'16.005
25	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	2'16.050
26	64	矢田 栄一郎	T.T.MOTO	YZF-R6	2'16.141
27	76	中迫 伸史	RSGLレーシング&ドリーム北九州	CBR600RR	2'16.733
28	56	阿久津 晃輝	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	2'17.362
29	78	宇佐見 保樹	RABBIT 7	YZF-R6	2'17.510
30	55	長谷川 直樹	CONFIA-HMF&AS小笠原	SX-R600L1	2'18.047
31	79	山内 宏之	立秋モーターズ&RC甲子園	YZF-R6	2'18.376
32	53	中津原 尚宏	研友会栃木PGLレーシング	CBR600RR	2'19.534
以上予選通過車両:					
*Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'13.387					
予選通過基準タイム(110%) 2'25.766					



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走28台  
●決勝スタート/12:20(12周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	5	Y	山田 誓己	TEAM PLUSONE&ENDURANCE	NSF250R	R 2'16.858
2	45		長島 哲太	Project μ7C HARC	NSF250R	2'17.053
3	3		仲城 英幸	Project μ7C HARC	NSF250R	2'18.060
4	4		山本 剛大	Team NOBBY	NSF250R	2'18.168
5	6		菊池 寛幸	KoharaRacing	NSF250R	2'18.344
6	634		徳留 真紀	MUSASHI RT ハルクプロ	NSF250	2'18.408
7	16	Y	亀井 雄大	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	2'19.041
8	55	Y	國峰 琢磨	JARIRacing&ENDURANCE	NSF250R	2'19.089
9	9		森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	2'19.091
10	70		葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart YERC	NSF250R	2'19.451
11	41		小室 旭	41PLN・Global.communication.loda	IODA JR002	2'19.585
12	31	Y	佐野 優人	SRS-J with MORIWAKI	MD250GP3	2'19.973
13	13		岡田 義治	チームヨシノレASPIRATION#44	NSF250R	2'20.219
14	47		安村 武志	犬の乳酸菌JP/アブリミディPT	NSF250R	2'20.448
15	56	Y	前田 恵助	ライダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'20.508
16	22		高杉 奈緒子	モト△withヒポボタマス	NSF250R	2'20.522
17	75		古市 石京	ASPIRATION A-next	NSF250R	2'20.619
18	52	Y	鳥羽 蓮	TEAM TEC2 & TDA	TEC2 TEC2-12	2'20.696
19	18	Y	北見 剣	ライダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'20.787
20	26		矢作 雄馬	BIR.Racing	NSF250R	2'20.874
21	74		三原 杜紫	ライダーチームアイファクトリーBB	HRC NSF250R	2'21.006
22	50	Y	長尾 健吾	ライダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'21.025
23	72	Y	三好 菜摘	オールスターモーターズスポーツ	NSF250R	2'21.913
24	14		大西 隼	Project μ7C HARC	NSF250R	2'21.958
25	21	Y	渥美 心	レーシングチームハニービー	NSF250R	2'22.364
26	88		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	2'22.908
27	66	Y	滋田 農央	ライダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'22.942
28	99		中本 貴也	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	2'22.952
以上予選通過車両:						
*Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'18.957						
予選通過基準タイム(110%) 2'30.543						
YはYouthクラスを示す。						



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走18台  
●決勝スタート/14:15(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	26	渡辺 一樹	RS-ITOH&ASIA	KAWASAKI ZX-6R	R 2'11.191
2	3	生形 秀之	エスバリスドリーム RT	SUZUKI GSX-MFD6	2'12.164
3	10	野田 弘樹	テルル & Kohara RT	TSR TSR6	2'12.194
4	31	野左根 航汰	Webike Team NORIC YAMAHA	YAMAHA YZW-N6	2'12.478
5	634	浦本 修亮	MUSASHI RT ハルクプロ	Honda CBR600HP6	2'12.677
6	51	高橋 英倫	PIT CREW & 松戸 FLASH	KAWASAKI ZX6R	2'12.941
7	14	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	Honda CBR600RR	2'13.052
8	34	岩田 悟	CLUB PLUS ONE	Honda CBR600HP6	2'13.274
9	16	中本 都	リリカAMENA with out Run	YAMAHA YZF-R6	2'13.522
10	2	関口 太郎	Team TARO	TSR TSR2	2'13.671
11	54	井上 哲悟	PIT CREW & 松戸 FLASH	KAWASAKI ZX6R	2'14.313
12	392	津田 一磨	ミクニBeatテリール&カリー	SUZUKI GSX-R600 L1	2'14.849
13	57	中村 豊	MOTO BUM HONDA	Honda CBR600RR	2'15.794
14	45	相馬 利胤	TT45	MORIWAKI MD600	2'17.166
15	19	小口 理	ALLMAN & OW racing	YAMAHA YZF-R6	2'18.571
16	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	ASAHINA Z600	2'19.225
17	37	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	Honda CBR600HP6	2'20.817
18	46	星野 知也	ミクニBeatテリール&カリー	SUZUKI GSX-R600 L1	2'22.356
以上予選通過車両:					
*Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'11.720**					
予選通過基準タイム(110%) 2'24.310					

アンケートに答えて  
2012チャンピオングッズをもらおう!

**SUPERBIKE.JP 大 アンケート**

●期間:2012年11月10日(土) 23:59まで  
ファンサイト <http://superbike.jp/> から回答していただけます。

**INFORMATION 最終戦 MFJ-GP 鈴鹿 10月28日(日)**

**全日本ロードレース選手権シリーズ テレビ放映予定**

2012年シーズンは全日本ロードレース選手権、そして全日本モトクロス選手権がレース開催8日後に録画映像で放送されることになりました。放送局はBS12 TwellIV(トゥエルビ)で完全無料放送となります。現場ではカバーできなかつたシーンや迫力のバトルをあらためてお楽しみください!!

**■放映スケジュール**

全日本ロードレース選手権最終戦 鈴鹿 11月5日(月) 20:00~20:55

詳しくはファンサイトで→<http://superbike.jp/>

**TIME TABLE**

\*タイムテーブルは、変更されることがあります。

10:00 -	ST600 コースイン〜選手紹介
10:15 -	ST600 決勝レース..... 12Laps
11:00 -	JSB1000[Race1] コースイン〜選手紹介
11:15 -	JSB1000[Race1] 決勝レース..... 15Laps
12:05 -	J-GP3 コースイン〜選手紹介
12:20 -	J-GP3 決勝レース..... 12Laps
13:00 -	13:40 ビットウォーク
14:00 -	J-GP2 コースイン〜選手紹介
14:15 -	J-GP2 決勝レース..... 15Laps
15:05 -	JSB1000[Race2] コースイン〜選手紹介
15:20 -	JSB1000[Race2] 決勝レース..... 15Laps
16:30 -	サーキットクルーレーシング(2輪一般体験走行)

